学校番号	T1202

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（通信） 英語コミュニケーションⅠ	3	第３学年	All Aboard! English Communication Ⅰ （東京書籍）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語コミュニケーションⅠでは、英語における４技能である「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の習得を目的としています。文法や読解の学習だけではなく、リスニングやペアワークなどの活動を通して総合的でバランスの良い英語力を養っていきたいと考えています。自己紹介や日常会話など、簡単なところから中学校の復習も兼ねてゆっくりと進めていきたいと思います。将来少しでも英語がみなさんの生活や仕事の役に立ってもらえたらと思っています。勉強だと身構えずに楽しく活動していきましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	・ ゆっくり発話されれば、簡単な語句や基礎的な表現からなる３文程度の英文の内容を聞き取ることができる。 ・ 趣味やクラブ活動など身近なトピックについての短い話をゆっくりはっきり話されれば、理解することができる。	・ 待ち合わせの時間や場所といった日常的な内容のメール文など具体的な事柄について書かれた文を読み、理解することができる。 ・ 簡単な語句や基礎的な表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。	・ 簡単な語句や基礎的表現を用いて、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやりとりすることができる。	・ 絵・写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語句や基礎的な表現を用いて身近なことについて説明することができる。	・ 簡単な語句や基礎的な表現を用いて、バースデーカードなど、短い文章を書くことができる。 ・ 趣味や好き嫌いについて簡単な語句や基礎的な表現を用いて、箇条書きで複数の文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	簡単なコミュニケーションや文章の作成に必要な、基礎的な表現・語彙・文法事項を身に付けている。	身近な話題や関心があることについて、話し手や書き手の意図を理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、学習して得た内容を活用しながら具体的に表現し、コミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Pre-Lesson1 Pre-Lesson2 Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4	聞くこと	a: 自己紹介をする際の語句の意味を理解している。 疑問詞や助動詞、不定詞の働きや意味を理解している。 b: クラスメイトの自己紹介を聞き、内容を理解している。 海外の話題についての質問を聞き、相手の意図を把握している。 c: クラスメイトの自己紹介を聞き、理解しようとしている。 海外の話題についての質問を聞き、相手の意図を把握しようとしている。	リスニング課題
		読むこと	a: ｂｅ動詞や一般動詞の意味や働きを理解している。 海外の動物や絶景、仕事について書かれた簡単な英文を読み、文章の展開や書き手の意図を把握している。 b: 自己紹介文を読んで、その内容を理解している。 海外の動物や絶景、仕事について書かれた簡単な英文を読み、文章の展開や書き手の意図を把握している。 c: 自己紹介文を読んで、内容を捉えようとしている。 海外の動物や絶景・働く人などについての簡単な英文を読み、文章の展開や書き手の意図を把握しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: ｂｅ動詞や一般動詞を主語や状況に応じて使い分けている。 疑問詞や助動詞、不定詞の働きや意味を理解している。 b: 自分のことを簡単な語句や基礎的な表現を用いて話している。 海外の動物などの話題について、簡単な語句や基礎的な表現を用いてやり取りしている。 c: 簡単な語句や基礎的な表現を用いて主体的に話そうとしている。 海外の動物などの話題について、簡単な語句や基礎的な表現を用いてやり取りしようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: アルファベットの大文字と小文字を区別して理解している。 主語・動詞のある簡単な文章を理解している。 助動詞や不定詞を用いて、さらに高度な自己紹介原稿や自分の行ってみたい場所、将来の仕事について書くことができる。 b: 簡単な語句や基礎的な表現を用いて自己紹介文を書いている。 既習の表現用いて、自分の考えや希望を書くことができる。 c: 簡単な語句や基礎的な表現を用いて読み手に配慮しながら自己紹介文を書こうとしている。 既習の表現を用いて、読み手に配慮しながら自分の考えや希望を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			

前期	Lesson5 Lesson6 Lesson7 Lesson8 Lesson9 Lesson10	聞くこと	a: 相槌を打ったり、質問をしたりなど、コミュニケーションを円滑にするための言語の働きを理解している。 現在完了形の継続・経験・完了用法の働きや意味を理解し、社会的な話題について説明された内容を捉えている。 b: 相手の話を聞きながら、適切に相槌を打ったり、質問をしたりしている。 社会的な話題について説明された内容を聞き、必要な情報を捉えている。 c: 相手の話を聞いて、適切に相槌を打ったり、質問をしたりして、コミュニケーションを図ろうとしている。 社会的な話題について説明された内容を聞き、必要な情報を捉えようとしている。	リスニング課題
		読むこと	a: 動名詞や受動態の働きや意味を理解している。 現在完了形の継続・経験・完了用法の働きや意味を理解している。 b: 動名詞や受動態を用いた日本文化や歴史上の人物についての文章を読み、話の展開や書き手の意図を把握している。 社会的な話題について書かれた文書を読んで、要点を捉えている。 c: 日本文化や歴史上の人物についての文章を読み、話の展開や書き手の意図を把握しようとしている。 社会的な話題について書かれた文書を読んで、要点を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 今期に学習した語句や表現を活用している。 b: 今期に学習した語句や表現を用いて、社会的な問題について、自分の考えや気持ちなどを話している。 c:今期に学習した語句や表現を用いて、社会的な問題について、聞き手に配慮しながら、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 不定詞と動名詞の働きや意味を理解している。 英文を能動態から受動態に転換できる。 今期に学習した語句や表現を活用している。 b: 歴史上の人物について自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基礎的な表現を用いて複数の文章を書いている。 今期に学習した語句や表現を用いて、社会的な話題について、自分の考えや気持ちなどを書いている。 c: 歴史上の人物について自分の考えや気持ちなどを読み手に配慮しながら文章を書こうとしている。 今期に学習した語句や表現を用いて、社会的な話題について、読み手に配慮しながら、自分の考えや気持ちなどを書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度